

六字城

2020/6/1

No. 667

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
<http://www.tenma-betsuin.jp>
代表者 輪番・武宮 信勝



(撮影者 西松 薫)

コロナ禍における生活は、様々に人間の営みを変化させている。中でもテレワークとかオンラインが盛んに進行している。先日、オンラインされた結婚式の模様が報道され、新郎新婦の様子、両家の様子など結婚式場のスタッフが複数のカメラを駆使し違和感が生じないよう必死に動き回っていた。またあるお寺のオンライン法要が報道された。住職のしめやかな読経の様子と、家庭に居ながらにしてパソコンに映し出されている住職の様子を眺め、手を合わせている参詣者の姿がテレビに映し出された。「三密」を回避しての行動だと思いますし、その活用は、内容によっては有効且つ便利なことだと思っています。皆さんはどう思われますか？

私はつい最近、姉のご主人が亡くなり、急いで自坊（長崎）に帰るために新大阪駅に走った。切符売場に向いた時、携帯が鳴り響いた。家族からそして親族から「緊急事態の最中であるので帰らず留まって欲しい」と。世話になった義兄の最後の死顔にも会えないのかと、どこにも当たらないような怒りと悲しみが交差し、ただただ「沈黙」のみ。

今、テレビ会議システムや動画配信が先行している。年忌法要・葬儀の形式も簡略化が更に進んでいくことも予想される。しかし何もかもでなく、今一度立ち止まって見直して欲しい。人間である我々には、情念に伴ういのちへの温もりと、輝きがある。人生における一回限りの最大の契約の結婚式、最大の別れの葬儀は、画面上のネットでは、真の喜びも悲しみ思慕も決して伝わらないと思うのは私だけでしょうか。

「オンライン社会に思う」

輪番 武宮信勝

花から始まる

花はない

世阿弥

法要・行事予定

6月

5日	同朋の会 (中止)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
18日	存如上人御祥月御命日 (8時)
20日	天満別院合唱団「みのり」 (中止)
24日	正信偈書写の会 (10時) 夏の御文法要 (13時30分) 多田孝圓師 (第7組圓乗寺住職) 「お念仏の呼びかけ」
27日	宗祖聖人御逮夜 (13時) 責任役員会 (14時) 通常院議會 (16時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時)

※ 諸行事については、感染防止のために、マスク着用、アルコール消毒をお願い致します。

7月

11日	従如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闡如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闡如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
	指導 村上奈津子師 (第13組超願寺住職)	
25日	宣如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(13時30分)
	定例法話 建部智宏師	(第7組教應寺住職)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(8時)

※ 諸事情により、7月の定例法話は27日に開催し、正信偈書写の会はお休みさせていただきます。



編集後記

「三密」を防ぐために色々なことがオンライン化されています。学校の授業や会社の説明会、飲み会までもがカメラ越しに行う世の中になってきて、お寺の行事や法座も例外ではありません。私も最近「オンライン法話」というものに参加してみました。ご講師の姿を見ながら法話を聞くことができるので、普段との違いは感じられませんでした。最後にみんなで画面越しに念仏を称えた時は、このような状況でも聞法できることに、改めて時代社会に対応する新しいあり方に驚きを感じました。しかしながら、聞法はその開かれている場に身を置くことが、何よりも大切なことだということを何故かしら思い知らされたことでした。(I)

今月の伝道掲示板

本山（東本願寺）御用達

(株) 平安法衣店

〒600-8153
京都市下京区
東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石屋さん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル  0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

門徒会総会のご案内

日時 6月24日(水) 16時

場所 天満別院 1階講堂

協議内容

天満別院門徒会

・ 2019年度

事業・会計報告

● 會計監查報告

・2020年度事業計画

- ・その他

4

夏の御文

ゲノオフミ

法要

日時

6月24日(水)

午後1時30分

～3時30分

講題

「お念仏の呼びかけ」

ご講師

多田孝圓師(圓乗寺)

ご講師からのメッセージ

今、私たちはコロナウイルス禍の脅威を感じ暮らしています。偏に終息を願うばかりです。仏教では物事の状態、有り様を「身土不二」と言われています。身はこの身です。土は娑婆です。身と土は一体、互いに関係しあいつながっています。娑婆は堪忍土と言います。まさしく皆堪え忍んでおられます。釈尊が説かれた世界は縦横無尽の縁でつながっている「縁起の事実」であります。

花は咲く縁が集まって咲き、散る縁が集まって散る。みな移り変わり単独で存在するものではありません。木村無相さんの言葉に「ご縁 ご縁 みなご縁 こまったことも みなご縁」とあります。順縁、逆縁みなご縁、人間の思いをこえたご縁を「ご因縁さま」と受けとめてこられました。念仏者の智慧であります。

「夏の御文」を拝聴し、縁起の道理にめざめ、お念仏の呼びかけに耳を傾けたいと思います。

※ 感染症対策には十分に配慮して、皆様のご参拝をお待ちしております。

Q&A

私が知らない

祖父母や曾祖父母の法事は、しなくてもよいのでしょうか？



答え

法事場で亡き人の生前のお姿を偲びながら、私たちは厳かな心でお勤めをいたします。共に同じ時代を生きた縁を獲た親族の年忌法要には、実に自然な気持ちで臨むことができます。しかし、自分が生まれる前に既に亡くなっていた方、あるいは幼い記憶に止めることのないままに命を終えられた方々の法事といっても、正直なところピンと来ないかも知れません。

私は私の両親があつてこの世に生を得ました。また、両親は各々にその両親(私の祖父母)があつて生まれて来ました。そうやって遡っていくと、今の私に至るまでに実に無数の命の歴史があつたことに気がかされます。私という存在の有り難さに目覚めれば、自分が直接知らない祖父母らへの思いも深まることでしょう。

浄土真宗の結婚式は、御本尊の阿弥陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていくと誓いをたてあう厳粛な儀式です。

また別院墓地に於いて別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。多くの方々にご利用いただきました御案内申し上げます。



告知

仏前結婚式のご案内

天満別院では仏前結婚式を随時受付しております。



別院墓地・合祀墓のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。

